

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

令和7年3月13日
南丹市長

市町村名 (市町村コード)	南丹市 (262137)
地域名 (地域内農業集落名)	日吉町胡麻郷地域 (畑郷、東胡麻、西胡麻、上胡麻、上保野田、下保野田、志和賀)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月1日 ~ 令和6年12月20日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題※

・高齢化が進み耕作をたくてもできない現状があり、農家組合等が農作業受託を行い農地を守っているが採算が合わないことが課題である。
・農業者の数が少なく、農業を引き継ぐ人材も不足している。今後は農地管理だけでなく農業水利施設の維持管理も必要となり、少ない人数で取り組めるか不安があり課題となっている。
・地理的に山間部に位置し農振農用地区域外に小規模な農地が多く、大規模化が課題である。また、相続による所有者の世代交代が発生するが、財産的な価値が低い、世代交代時に登記費用が掛かる等で放棄されることがあるため、所有者の特定と農地管理が困難な所有者の農地利用が課題である。

※は実質化された人・農地プランと同程度の項目です。以下同じ。

(2) 地域における農業の将来の在り方※

・高齢化が進み耕作をたくてもできない現状があり、農家組合等が農作業受託を行い農地を守っているが採算が合わないことが課題である。
・農業者の数が少なく、農業を引き継ぐ人材も不足している。今後は農地管理だけでなく農業水利施設の維持管理も必要となり、少ない人数で取り組めるか不安があり課題となっている。
・地理的に山間部に位置し農振農用地区域外に小規模な農地が多く、大規模化が課題である。また、相続による所有者の世代交代が発生するが、財産的な価値が低い、世代交代時に登記費用が掛かる等で放棄されることがあるため、所有者の特定と農地管理が困難な所有者の農地利用が課題である。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	200.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	198.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及び農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針※
農地中間管理機構を通じて集積・集約化を図りたいが、自ら耕作したい所有者もいるため、話し合いを通じて決めていきたい。
(2)農地中間管理機構の活用方針※
農地中間管理機構に農地を貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針※
担い手のニーズを踏まえ、農用地の大区画化の基盤整備を適切なタイミングで実施することを検討している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針※
過去10年新規就農者が減っているので、市町村と連携し個人農業者だけでなく法人の誘致にも力を入れていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
農作業委託をしたい思いはあるが価格やサービス内容で調整をする必要があるため、調整を進めて行く。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策※	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				
①イノシシやシカの被害が拡大しないように防護柵の設置及び補強を行う。				
②水稻から地域特産物への有機農業への切り替え、減農薬化を進める。				
⑧規模拡大したい農業者がいるので出荷調製施設など農業用施設の集約化を進めたい。				